

# 核兵器廃絶は急務！

## 原水爆禁止世界大会に参加して



原爆の子の像の前で（江東代表団）

被爆79年目に開催された原水爆禁止世界大会2024はヒロシマで開催されました。江東代表団の一員として参加した小林秀子さん（江東区労連事務局長）に感想をお寄せいただきました。

8月4日に開催された開会総会最後のプログラムである「核兵器禁止条約に参加する日本を一草の根の運動交流」では、女性団体が語った「より多くの人々とつながれば社会や政治を動かす大きな力になる」という言葉と、92歳の平和行進の通し行進者が10回目の行進をしたという話に大きな感銘を受けました。8月5日に開催された分科会では、「被爆・核実験被害の実相普及一被爆者援護・連帯、核実験被害者の救済と連帯」に参加しました。閃光と爆風、熱戦で一瞬にして破壊された広島街の中で、市民は生きたまま焼かれました。原爆投下から79年がたち、多くの被爆者が亡くなりました。いま生きている被爆者は、当時幼少だった方が多く、被爆体験を語る事が難しくなっています。そのような中でも、再び原爆の悲劇を繰り返さないために、被爆の実相を伝えようとしています。原爆のきのこ雲によって上空に広がった放射性物質は、広い範囲で黒い雨となって降りました。爆心地から遠く離れたところでも、その黒い雨を浴びた人たちは放射線の影響を受けています。国などが推定した範囲外で、黒い雨を浴びた人々を被爆者と認めるよう訴える「黒い雨」訴訟などの報告が続きました。また、韓国からの報告者は、広島で被爆し、韓国に帰国してからも差別や偏見に苦しんだことを、流暢な日本語で話しました。長崎の被爆者からグラマン戦闘機に遭遇した話を聞きました。私の父も9歳の時に同じような経験があり、操縦している軍人の顔がはっきりわかるくらいの低空飛行に出会ったと話してくれました。その時機銃掃射を受けて命をなくしていたかもしれなかったことに背筋が寒くなるような思いでした。

広島市街地の南東にある旧陸軍被服支廠を訪ねました。ここは被爆建物としては最大級です。当時、たくさんの被爆者が避難し、亡くなったといえます。煉瓦の倉庫群が原爆で傷ついたままに79年も佇んでいました。

私ができることは、あの日のことを想像してみること。多くの被爆の実相を聞き、知ったことを伝えること。6・9行動や署名行動など核兵器廃絶の行動にできる限り参加すること。今後も地道に草の根の活動を続けていきたいと思えます。

2024年度の最低賃金が確定しました。中央最低賃金審議会は8月に全国A・B・Cのどのランクの都道府県も50円引き上げ、全国加重平均1054円とするという目安をだしました。目安を受けて、各都道府県の最低賃金審議会は8月29日までにすべての都道府県で答申が出されました。

それによると、徳島県が34円プラスして84円の引き上げの答申を最高に、プラス9円〜1円までの引き上げがなされた県が24県になりました。一方中賃の目安通りの答申を出した都道府県が東京都をはじめ23都道府県でした。結果として全国加重平均は1055円となりました。また今回の答申で最賃の最高額は東京

都の1163円、一番低いのは秋田県の951円とその差は212円。昨年に比べて8円縮まりましたが、生計費調査を見ても全国的に最低の生計費は変わりません。徳島県の84円引き上げ答申にみられるように、労働力の流出が深刻な地方の格差をなくすためにも全国一律最低賃金制度の実現が急務です。

中賃目安よりも最高34円上がる！

全国一律最低賃金制の実現を

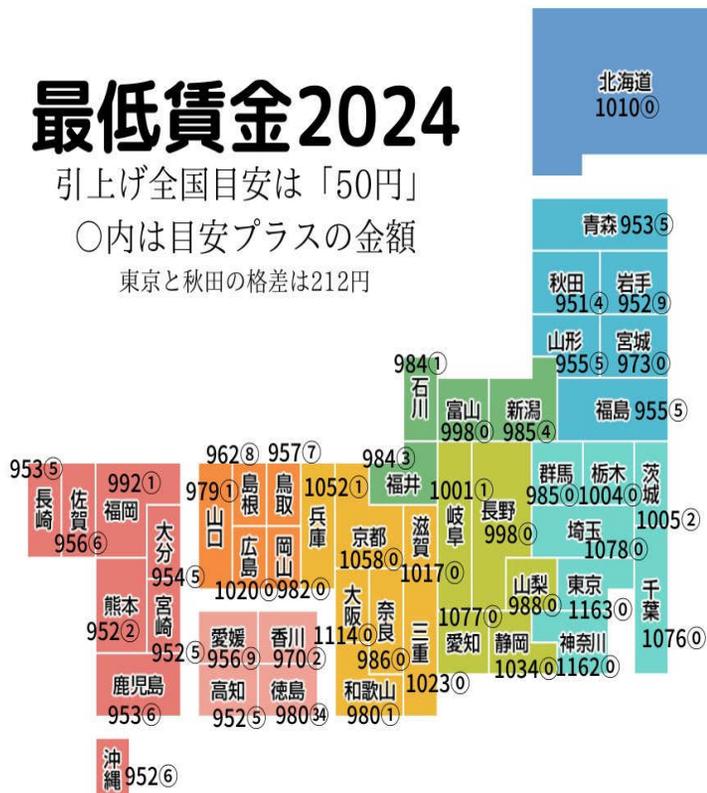
東京都は時間額1163円に

## 最低賃金2024

引上げ全国目安は「50円」

○内は目安プラスの金額

東京と秋田の格差は212円



# 2025年江東区中学校教科書採択 歴史Ⅱ教育出版、公民Ⅱ東京書籍

江東区の2025年度版の中学校教科書採択が8月23日に行われました。江東区では社会科歴史教科書は教育出版、公民教科書は東京書籍が採択されました。

文科省が令和書籍の「国史教科書」を検定合格したことを受けて、「江東の教育を考える会」は子どもたちに日本国憲法に基づく教育を願う立場から、教科書展示会での閲覧や教育委員会の傍聴などをを行いました。

は歴代天皇の皇位継承図を冒頭に掲げ、「国生み神話」の紹介から始まるなど天皇を中軸にした記述、真珠湾撃を「日本の快進撃」との見出しをつけ、ゼロ戦及び戦艦大和の写真と説明に1頁をつかい、特攻隊員の死を賛美するなど侵略戦争を美化しています。また「慰安婦」問題でも「日本軍が朝鮮の女性を強制連行した事実はなく」として全否定しています。

江東区教育委員会では4名の委員が発言、すべての出版について意見を表明しました。複数の委員からは具体的社名も出されました。教育長がまとめの発言を行い、「委員の皆さんの発言をまとめると〇〇社が適当であると思われる。〇〇社でよろしいですか」と発言して各教科の教科書が決まりました。令和書籍の教科書については「装丁が縦書だったり、印刷が白黒のみなど、子どもにとって意欲や関心をもちにくい否定的な意見が述べられました。」

# 今年も実施します！ 第19回世直し雷大行進



今年も雷大行進を実施します。9月4日、墨田区で『異常な物価高騰に喝！国民生活の3つの最低保障要求確率第19回世直し雷大行進』実行委員会発足総会が開催され、東部地域7区の区労連・民商、全労連全国一般、JMITU、東京地評の仲間など45人が集まりました。実行委員会では学習として業者を代表して田中茂足立西民商副会長より、民商の誕生と税務行政との長い闘い、東部共同行動実行委員会の中村知良事務局長より東部共同行動の30年のとりくみと教訓、これからの課題と題して報告をいただきました。

今年の雷大行進は諸物価高騰に喝！として物価高騰にあえぐ庶民の声をとどろかせようと**12月8日(日) 10:00~浅草花川戸公園**で開催されます。

## トピックス

■第228回憲法9条守ろう・9の日宣伝行動  
区民要求実現江東大運動実行委員会は9月9日、3駅で3団体26人が参加、チラシ740部を配布しました。

◆第32回未組織対策委員会  
夏季学習交流会  
江東区労連未組織対策委員会は9月7日、江東教育委員会『第32回夏季学習交流会』を開催し10名が参加しました。例年宿泊で行ってききましたが、今年は半日学習会となりました。

講師には弁護士岸朋弘さんを招いて『労働基準法を改悪を許さない！』最近の労働基準法に関する議論状況を踏まえて」と題して問題提起をしていただきました。

岸弁護士は、40年ぶりの労基法改悪の動きを1947年の制定、1987年の改正以降の法改正の歴史を振り返り、労働基準法は労働者保護を強める改正と弱める「改正」の綱引きの歴史だった。その大きな要因に労働組合運動の粘り強い行動があったとしました。新しい時代の働き方研究会や経団連の提言なども見ながら労基研報告を見ると、危険な動きも見える、大きな運動を結びました。

江東区労連では「第42回秋の学習と交流のつどい」でさらにこの問題を深めます。

## 江東区労連からのお知らせ

- 最低賃金周知宣伝行動
  - 日時…10月 1日(火) 18:00-19:00
  - 場所…JR 錦糸町駅南口
- 第229回憲法9条守ろう・9の日宣伝行動
  - 日時…10月 9日(水)
  - 場所と時間
    - 東大島・西大島 (17:30-)
    - 東陽町 (7:30-) 辰巳・新木場 (8:00-)
- 第16回江東なんでも相談会
  - 日時…11月 3日(日・祝) 13:00-16:00
  - 会場…江東区文化センター
    - 法律・労働・営業・健康・年金等
    - フードバンクを行う予定です。
- 江東区労連第42回秋の学習と交流のつどい
  - 日時…11月29日(金) 18:30-20:15
  - 会場…江東区亀戸文化センター第1・第2研修室
  - テーマ…『労基法40年ぶりの改悪！』  
～労基研報告をめぐって～  
講師…岸朋弘弁護士(日本労働弁護団)  
★東京都労働相談情報センター亀戸事務所の自主的労働教育助成事業です。

# 労働相談の 窓口から

労働相談件数は昨年よりも少ない傾向が公的機関でもホットライン系でも減少傾向です。しかし相談内容は、ハラスメントと合わせて解雇や雇止めなど古典的な相談も目立ちます。いくつかを紹介します。

- ◆雇止め(組合員・契約・男性)  
23年7月に契約社員として入社したが、目標数値の設定がおかしく、仕事が多くなった。24年1月に異動になり営業サポートになったが、目標数値は達成したが、件数が達していないとして正社員になれないばかりが9月末での雇止めを通告してきた。団体交渉では雇止めについて、組合は撤回を要求した。
- ◆賃金・労働条件(組合員紹介・契約・派遣・女性)  
電話交換手。ベテラン2人。新人がどんどん入るが未経験者ばかりで教育しなくてはならない。しかも新人よりも賃金が少ない。次回詳細をお知らせします。